

07 いちのみや親子木曾川源流探検隊

- 【日 時】 平成 27 年 8 月 1 日（土）
- 【場 所】 木祖村 こだまの森周辺及び味噌川ダム
- 【内 容】 以下のとおり

「いちのみやリバーサイドフェスティバル」運営協議会（事務局：一宮市公園緑地課）の主催により行われている標記事業が今年も開催され、一宮市内の親子 80 名及び市関係者 4 名、上流域からは唐澤木祖村長、古畑木祖村議会議長、古幡副管理者ほか関係者 5 名が参加しました。当日は快晴で、強い日差しを受けて木祖村でも 30 度を超える暑さとなりました。

参加者一行は 10：20 頃にバス 2 台でこだまの森に到着し、歓迎セレモニーが行われ、「いちのみやリバーサイドフェスティバル」運営協議会副会長岩田氏、上流域からは栗屋村長、古畑議長、古幡副管理者より歓迎のあいさつをいただきました。

その後 2 班に分かれ、徒歩にてキャンプ場の釣り堀へ移動し、イワナのつかみ取りを行いました。2ヶ所の池に約 100 尾のヤマトイワナを放流し、子供達はびしょぬれになりながら必死で追いかけながら、イワナを捕まえていました。

昼食は、イワナの塩焼きとバーベキューを楽しんでいただき、食事を終えた家族から順次隣接のブルーベリー園へ移動していただき、ブルーベリー狩り体験を行いました。今年は冬の積雪の影響で倒木するなどの被害があったことから、ブルーベリーの収量は比較的少ないようですが、それでも参加者の皆様は限られた時間の中で、バックいっぱいブルーベリーを摘み取っていました。

その後、木曾川源流ふれあい館（味噌川ダム資料館）の見学とダム巡視艇の体験乗船を交互に行いました。この時点で一宮市長の中野氏も木祖村へ到着し、参加者に挨拶いただくとともに、ダムを見学されました。

最後は道の駅「木曾川源流の里きそむら」でお土産等買い物をしていただき、16：40 に一宮市へ向けて出発されました。猛暑の中で急病者が心配されましたが、無事に終了することができました。

☆ 当日の様子



開会セレモニー



イワナのつかみ取り



バーベキュー



ブルーベリー狩り



ふれあい館



巡視船乗船体験